

木更津高専 カレッジ公開講演会
学校長主催シリーズ第1回通算第1回



スペイン系言語圏ラテンアメリカの発展と日本の未来 WORLD CUPのブラジルとメキシコの事情など

金澤岳夫氏(一般財団法人前川財団 理事長)

Victor M. Serdio V. 博士(東京工業大学 特任助教)

2014年6月17日火曜日

16:00~17:30

木更津高専 総合教育棟1F

第1講義室

聴講無料

ワールドカップ開催でいま世界の脚光を浴びているブラジルは、産業科学技術の発展の著しいBRICSの主要メンバーでありポルトガル語圏の国、また米国の隣国メキシコも近年の産業発展が著しいスペイン語圏の国であります。両国をはじめとする南北米大陸(ラテンアメリカ)諸国の産業と経済発展・人口増加を見るとき、我が国の未来の産業科学技術と経済活動

展開にとって重要な連携先となる可能性が見えてきます。パナマ運河の大改修・再開発やスペイン語圏人口が英語圏、中国語圏に次ぐ世界有数の規模となってきたことも含めて、これらラテンアメリカ諸国の現状を把握することは極めて重要であります。この講演会では、アメリカ合衆国とラテンアメリカで長い間、活発に日本の企業活動を続けてこられた方

と、メキシコ人で日本の大学院で研究生活を送られた若い研究者に、ブラジルやメキシコをはじめとするラテンアメリカ諸国の現状と我が国の関連についてお話を伺い、スペイン語・ポルトガル語などの国際的重要性等についての知識も蓄えたいと思います。(校長)